



出雲地区森林組合広報 **Forest**

「緑のこだま・いずも」

No.43
令和2(2020)
9/25

発行
出雲地区森林組合 出雲市塩冶町967番地1
TEL (0853) 22-4433(代) FAX (0853) 22-5070
メールアドレス: izurinsomu@m1.izumo.ne.jp
ホームページアドレス: <http://www.izurin.jp/>





加工工場（間伐材丸棒製造）

この地域の皆様から出材いただいた間伐材を丸棒加工や防腐処理などを施し、付加価値を高めたモノづくりをして、これからも間伐材を使った地域づくりを提案します。

目次

CONTENTS

加工工場（間伐材丸棒製造）	1
令和2年度 通常総代会	2～3
新役員体制です	4

令和二年度 通常総代会

令和二年度通常総代会を、八月二十六日に新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から三密を避けて朱鷺会館大ホールで開催いたしました。総代定数二〇〇名中一八五名(本人出席三十三名・書面による出席一五二名)の出席で、平田地域の岩成秀幸総代を議長として議案のご審議をいただき、上程いたしました議案全て原案どおり承認可決されました。通常総代会に至るコロナ禍での地域総代会、臨時総代会の開催にご理解とご協力を頂いたことにお礼を申し上げます。

今年度は、役員の改選期であり、定款の変更により選任の議決は投票によって行われ、三野瀬尚理事(出雲)・森山昌之理事(出雲)・岡田耕一理事(多伎)・加藤博理事(大社)の四人と園山博良監事(出雲)がご退任されました。長年にわたり、森林組合運営に多大なご尽力を賜り誠にありがとうございました。後刻、理事会で平田地域選出の高砂明弘理事が代表理事組合長に再任をされ、監事会に於いては平田地域選出の岩成富男監事が代表監事に再任されました。また、合併来の代表理事二人体制(組合長・専務)を一人体制(組合長)とした新体制を決定いたしました。

令和元年度の事業実績は、事業収益では計画に対して約一〇％七億四五六三万円の達成となり三年ぶりの黒字決算となり、加工部門、森林整備部門ともに取扱額は増額となりました。組合員、従業

員の皆様のご理解とご協力と、関係各位のご支援の賜物と感謝を申しあげます。しかしながら、森林組合を取り巻く厳しい状況には変わりありません。

令和二年度の事業計画の達成には、コロナ禍に於いていろいろな課題が発生しています。合板用針葉樹の価格引き下げ、製紙用チップの出荷制限等を初めとして今後について不透明なことが沢山あります。昨今、林業の成長産業化が言われるなかで森林組合が地域の林業経営の重要な担い手として、能力を発揮できるように人材の育成に努めて参ります。皆様には一層のご支援ご協力をお願いいたします。



令和二年度

通常総代会提出議案

第一号議案

令和元年度事業報告・貸借対照表・損益計算書・剰余金処分案・注記表及び附属明細書の承認について

第二号議案

令和二年度事業計画の設定について

第三号議案

令和二年度内における借入金最高限度額決定について

第四号議案

一組合員に対する貸付金最高限度額決定について

第五号議案

諸手数料率決定について

第六号議案

令和二年度役員報酬額の決定について

第七号議案

余裕金預け入先決定について

第八号議案

役員の選任について

第九号議案

退任役員に退任慰労金を支給することについて



I. 貸借対照表

令和2年3月31日現在(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
現金・預金	78,047	買掛・未払金	61,424
受取手形	2,652	その他流動負債	16,229
売掛・未収金	123,210	流動負債計	77,653
棚卸資産	39,873	転貸資金借入	954
その他流動資産	8,379	諸引当金	44,053
流動資産計	252,163	固定負債計	45,007
有形固定資産	420,653	負債合計	122,660
無形固定資産	28,801	出資金	396,772
転貸資金貸付	947	法定準備金	61,410
外部出資金	28,250	任意積立金	143,710
その他の資産	593	(損失補填積立金)	(86,896)
固定資産計	479,246	(森林整備積立金)	(6,814)
		(労働安全対策積立金)	(2,000)
		(事務所修繕積立金)	(12,000)
		(加工施設整備積立金)	(20,000)
		(車両整備積立金)	(10,000)
		(高性能機械整備積立金)	(6,000)
		当期未処分剰余金	6,855
		(当期剰余金)	(6,747)
		(前期繰越剰余金)	(0)
		(任意積立金取崩額)	(107)
		純資産合計	608,748
資産合計	731,409	負債・純資産合計	731,409

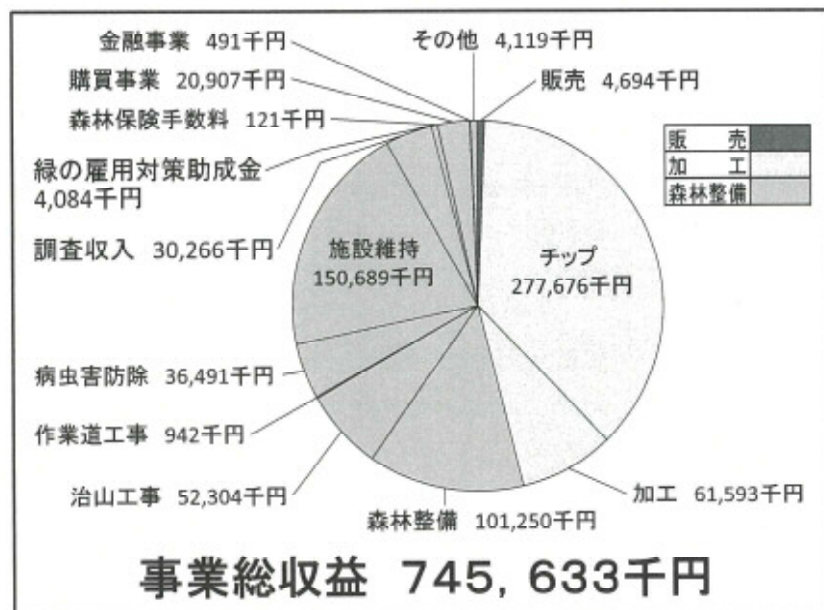
II. 損益計算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日(単位:千円)

科 目	金 額
事業総収益	745,633
事業総費用	574,077
事業総利益	171,555
事業管理費	170,473
事業利益	1,082
事業外収益	11,461
事業外費用	5,237
経常利益	7,306
特別利益	818
特別損失	761
税引前当期利益	7,363
法人税、住民税及び事業税	616
当期剰余金	6,747
前期繰越剰余金	0
森林整備積立金取崩額(目的内)	107
当期未処分剰余金	6,855

III. 令和元年度剰余金処分案 (単位:千円)

科 目	積 算 内 訳	小 計	金 額
当期未処分剰余金			6,855
剰余金処分額			
法定準備金	当期剰余金の20%以上	1,400	
任意積立金		2,000	
(損失補填積立金)		(2,000)	
			3,400
次期繰越剰余金			3,455



事業総収益 745,633千円

※記載表示の千円以下は切り捨てております。



出雲地区森林組合 新役員体制です よろしくお願ひ致します



代表理事組合長 高砂 明弘

この度理事の皆様のご同意をいただき組合長に再任いたしました。

役職員一同一丸となり、今後も引き続き循環型林業の確立と、組合の健全経営に取り組んでまいります。皆様のご指導とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



理事 多々納 康久

引き続き理事に選任されました。森林の役割や重要性の認識は高まってきましたが、有効的な利用や森林の整備には依然として解決すべき課題が山積しています。微力ながら森林組合の発展に努力してまいります。



理事 浜村 雅男

新型コロナの影響で今地方が、特に自然が見直されています。三密を避けて適疎(適切な適疎)がこれから益々望めます。二酸化炭素を吸収し酸素を生み出す緑豊かな山林の価値が環境のみならず、経済的にも見直され、再生可能で人にやさしい資源になる事を期待します。理事としての最終の任期を精一杯頑張りますので宜しくお願いします。



理事 常松 泰久

選任いただき有難うございます。森林林業を取り巻く環境は、コロナ禍の中一層厳しいものがありますが、持続的な治山治水対策としての森林資源の保持、再生がますます重要性を増しております。森林組合の健全経営との両立に、微力ながら努力したいと存じます。



理事 江角 忠也

この度の改選で理事に選任頂きましたのでよろしくお願い致します。森林資源を維持して行くことは、近年の異常気象などの環境面や地域の防災面でも非常に重要です。森林の果たす役割を生かすとともに、森林事業の確立と発展に微力ながら努力して参ります。



理事 三原 和男

再度、理事に選任いただき有難うございます。昨今の地球温暖化、付随する豪雨災害等、森林に対する二酸化炭素吸収、森林の保水能力向上等、森林管理経営に取組む森林組合の発展に寄与したいと思ひます。



理事 大熊 祐二

この度の役員改選において理事に就任いたしました。森林を健全な状態に保ち林業を活性化していくために森林組合の各種事業展開は欠かせません。微力ながら組合の健全な事業運営に寄与できるよう努力いたします。



理事 持田 重幸

本市の面積の6割を占める森林は、生態系の保全、水源涵養、土砂災害の防止、快適環境の形成など、私たちの安心安全な生活を支える大きな役割を担っています。その森林の荒廃を防ぎ林業の発展を図るため、微力ながら頑張っております。



理事 金山 陽

日本の森林は豊富な資源量があり世界有数の森林国です。しかし木材価格の低迷や林業後継者の不足など産業としての課題は多い。環境面ではCO2削減のため再造林や間伐等の推進が必要で厳しい経済状況ではありますが、微力ながら努力してまいります。



代表監事 岩成 富男

引き続き代表監事に選任されましたので、組合の健全性と内部統制が適切に実施され、活力ある組織として組合員の皆様の利便性向上に資するよう努力してまいります。



理事 倉橋 輝夫

この度の役員の改選により、理事に就任いたしました。現在、出雲地域の北山山系、中国山地の森林を取り巻く様々な問題が山積している中、森林組合の発展は基より森林の活性化に微力ではありますが精一杯努力してまいります。



監事 石橋 正伸

監事として2期目を務めさせていただきます。法令遵守や適格・適正の監査を心掛け、森林組合の発展に少しでも寄与できればと考えています。



理事 児玉 俊雄

引き続き理事に選任いただきました。一期3年間で、あらためて林業を取り巻く情勢の厳しさを感じました。今後は、森林環境譲与税の活用方法などを含め、行政との連携が益々重要になってくると思いますので、行政や議会とのパイプ役としても頑張ります。



監事 小林 郷史

この度監事に選任されました。昨今森林事業を取り巻く環境は厳しいものがあります。ましてや新型コロナの影響が見通せない状況の中ではありますが、森林組合の健全な経営が出来ますよう微力ながら努めて参ります。